

熊谷東中学校だより
第6号

東雲

令和2年10月23日発行

<学校教育目標>

志高く
心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

<目指す学校像>

生徒が「日本一だ」と誇りをもって
卒業することができる学校

4つの実践
○朝ごはんをしっかりと食べる。
○呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
○「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
○友だちをたたくさんつくる。

3減運動
減 テレビの時間を減らします。
減 ゲームの時間を減らします。
減 スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使い方宣言
自分や周りの人の情報を守ります。
他人を傷つけない。
他人を褒めつづけます。
様々な高度から情報を入力し、正確な判断をします。
インターネットにつながる機器にはウイルス感染対策を怠りません。

教科書をきちんと読めていますか

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

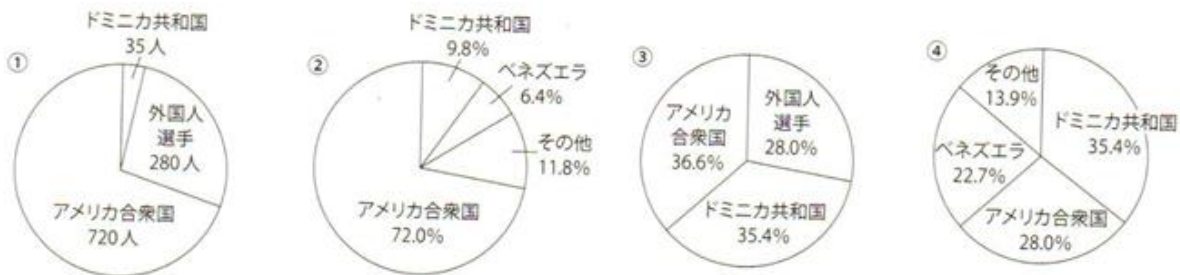
日本の子どもたちの読解力に関して、国立情報学研究所の教授である新井紀子さんの著作に興味をわく記述があります。(以下、抜粋 下線は校長)

「中学校の授業は、国語の難解な小説や評論は別として、生徒は社会や理科の教科書の記述の意味は読めば理解できることを前提として進められています。そうでなければ授業はなりたちません。(中略)けれども、私は、それまで誰も疑問を持っていなかった「誰もが教科書の記述は理解できるはず」という前提に疑問をもったのです。」

こう考えた新井氏は、中学生の読解力について本気で調査を始めます。そして、リーディングスキルテストという基礎的読解力に的を絞った調査を開発し、全国の学校の児童生徒や企業で働く社会人等あわせて25,000人を対象にデータの収集を行ったのです。どのような内容のテストなのか公表されている問題のひとつを示します。

[問題] 次の文を読み、メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す図として適当なものをすべて選びなさい。【イメージ固定】

メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の選手であるが、その出身国を見ると、ドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である。



さて、正解はどれだと思いますか。中学生12%、高校生28%の正答率でした。衝撃的です。④を解答した割合が高く、文中の「以外の」や「のうち」といった語句を読み飛ばすか、その使い方がわからないのか、あるいはその両方かもしれないと筆者は分析しています。筆者が別に開発を進めるAIロボットでは、まだなかなか処理できない高度な知的処理だと言いますが、私たち熊谷東中学校の生徒にはきちんと文章を読み、その内容を正確に判断できる知識・技能を身につけてほしいものです。

これまで教科書を読むことは学習の基本とされてきましたが、幼い頃からの家庭教育や学校教育で、まず丁寧な読み方指導を重視すべきであることを証明する事例だとも考えます。思考力・判断力・表現力の基盤となる『読解力』を再点検しましょう。※[問]の正解は②です

<生徒の活躍>

道の駅くまがや未来予想図・・・優秀賞：1年・大野さん 入選：1年・小林さん

熊谷市新聞感想文コンクール・・・優秀賞：1年・須藤さん

埼玉県歯・口の健康啓発標語コンクール・・・特別会長賞：2年・小島さん

「よく噛むと 胃によし 歯によし 脳によし」



